

機械器具 25 医療用鏡 一般医療機器 単回使用クラスI処置キット JMDNコード33961001
(自然開口向け単回使用内視鏡用非能動処置具 JMDNコード38819001)

ディスプレイザブルガイドシースキット K-404

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 1.内視鏡の角度をかけた状態で、生検鉗子（FB-231D）を引き抜かないこと。[生検鉗子（FB-231D）の操作ワイヤがカップからはずれるおそれがある。操作ワイヤがはずれると操作ワイヤの一部が破損して患者体内に脱落するおそれがある。また、操作ワイヤがはずれたまま使用すると、はずれたワイヤが突出し、出血、粘膜損傷につながるおそれがある。]
- 2.再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

**構造・構成ユニット

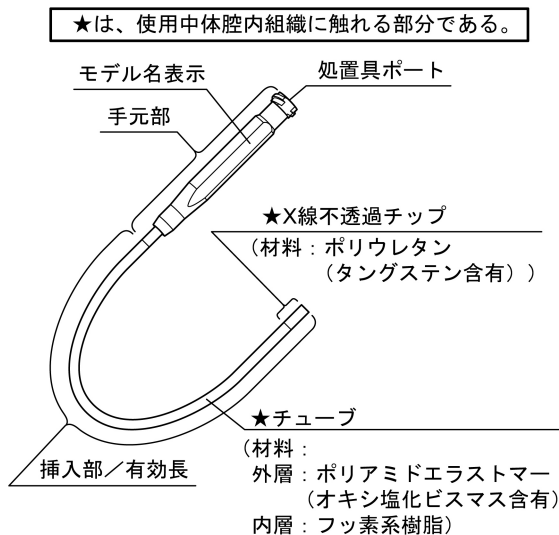
1.構成

ディスプレイザブルガイドシースキットは、ディスプレイザブルガイドシース、ディスプレイザブル生検鉗子、US ストップ、ET ストップから構成される。

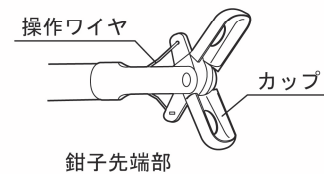
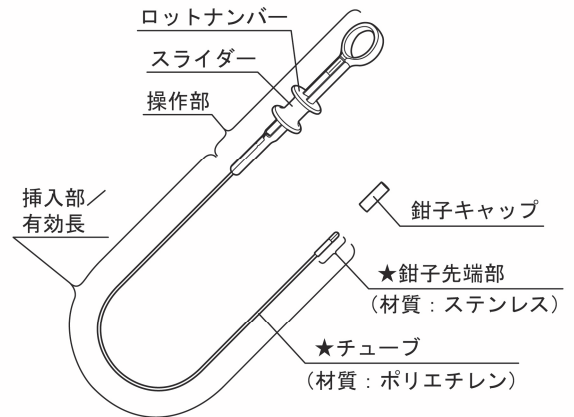
モデル名	K-404
ガイドシース	SG-401C
生検鉗子	FB-231D
ストップ	US ストップ1個 ET ストップ白1個 ET ストップグレー2個

2.各部の名称

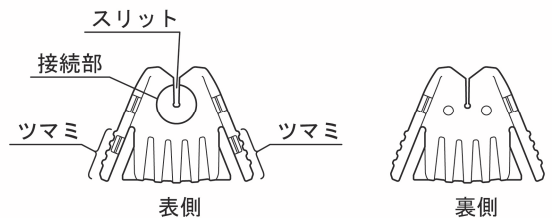
- ・ディスプレイザブルガイドシース SG-401C



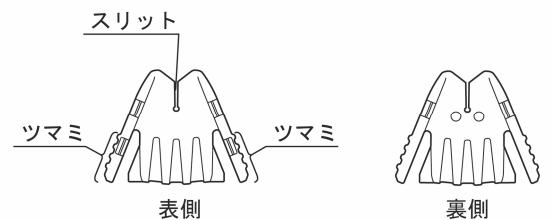
- ・ディスプレイザブル生検鉗子 FB-231D



- ・US ストップ



- ・ET ストップ白、ET ストップグレー



取扱説明書を必ずご参照ください。

3.仕様

**・ガイドシースキット

モデル名	K-404
------	-------

・ガイドシース

モデル名	SG-401C
最大外径 (mm)	Φ2.54
有効長 (mm)	1050

・生検鉗子

モデル名	FB-231D
最大外径 (mm)	Φ1.9
有効長 (mm)	1150
カップ形状	標準
スイング機構	あり

**・US ストッパ、ET ストッパ

	US ストッパ	ET ストッパ	ET ストッパ
		白	グレー
色	ダークグレー	白	グレー

**詳細は、『取扱説明書』の「8 仕様」を参照すること。

**作動・動作原理

- 1.ガイドシースは、内視鏡、処置具、超音波プローブと組み合わせ、処置具、超音波プローブを目的の部位に誘導する。
- 2.生検鉗子は、スライダを先端側へ動かすとカップが開き、手元側へ動かすとカップが閉じる。スライダを押しカップを開き、目的の組織に開いたカップを押し付け、カップを閉じるにより、目的の組織を採取できる。

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、当社指定の内視鏡と組み合わせ、内視鏡用処置具および超音波プローブを呼吸器内の対象領域に誘導し、組織または細胞を採取することを目的としている。

**【使用方法等】

- 1.点検および準備
滅菌パックの点検、ガイドシース、生検鉗子の外観の点検、作動の点検をする。
- 2.US ストッパの準備（超音波プローブを組み合わせる場合）
・超音波プローブへの取り付け
 - 1)超音波プローブ挿入部をガイドシースの処置具ポートから挿入し、超音波プローブ先端がガイドシース先端から少し出る位置まで挿入する。
 - 2)US ストッパのつまみを把持してスリットを開き、ガイドシース処置具ポート付近の超音波プローブ挿入部に、US ストッパをスリットの奥まで挿入して取り付ける。
 - 3)US ストッパの接続部をガイドシースの処置具ポートに押し込んで固定する。
 - 4)超音波プローブ先端がガイドシース先端から少し出る位置になるよう超音波プローブの挿入部を調整する。
 - 5)超音波プローブに取り付けたまま、US ストッパをガイドシースの処置具ポートからはずす。
 - 6)超音波プローブを US ストッパと一緒に、ガイドシースから引き抜く。

3.ET ストッパの準備（生検鉗子、細胞診ブラシ、誘導子および吸引生検針などの処置具を組み合わせる場合）

**・生検鉗子、細胞診ブラシ、誘導子、吸引生検針への取り付け（ET ストッパ白は誘導子、吸引生検針、ET ストッパグレーは生検鉗子、細胞診ブラシに使用可能）

- 1)生検鉗子、細胞診ブラシ、誘導子および吸引生検針などの処置具挿入部をガイドシースの処置具ポートから挿入し、処置具先端がガイドシース先端から少し出る位置まで挿入する。
- 2)ET ストッパのつまみを把持してスリットを開き、処置具挿入部のガイドシース処置具ポートに突き当たる位置に ET ストッパをスリットの奥まで挿入して取り付ける。
- 3)処置具をガイドシースから引き抜く。
- 4)使用する処置具すべてについて、上記 1)~3)を行う。

**・ガイドシースへの取り付け（ET ストッパグレーが使用可能）

- 1)超音波プローブまたは処置具に取り付けたストッパがガイドシースの処置具ポートに突き当たる位置まで、超音波プローブまたは処置具をガイドシースに挿入する。
- 2)ET ストッパのつまみを把持してスリットを開き、ガイドシース挿入部の先端から 1m 程度の位置に ET ストッパをスリットの奥まで挿入して取り付ける。

4.ガイドシースへの処置具の挿入および内視鏡へのガイドシースの挿入

- (1)超音波プローブまたは処置具に取り付けたストッパがガイドシースの処置具ポートに突き当たる位置まで、超音波プローブまたは処置具をガイドシースに挿入する。
- (2)超音波プローブを使用する場合には、US ストッパの接続部をガイドシースの処置具ポートに固定する。
- (3)ガイドシースの挿入部先端が内視鏡の視野に入るまで挿入する。
- (4)内視鏡、超音波画像、X 線透視下で確認しながら、挿入部先端をゆっくりと目的部位まで挿入する。

5.ET ストッパによるガイドシースの位置決め

ガイドシースに取り付けた ET ストッパをガイドシース挿入部の鉗子栓に突き当たる位置に移動させる。

6.生検鉗子による組織採取（生検鉗子を使用する場合）

- (1)目的の組織の採取をするために、内視鏡の角度を操作したり、生検鉗子を必要な長さまで挿入したりする。
- (2)スライダを押しカップを開き、目的の組織に押し付ける。
- (3)スライダを引き、目的の組織を採取する。

**7.細胞診ブラシによる細胞採取（細胞診ブラシを使用する場合）

- (1)目的の細胞の採取をするために、内視鏡の角度を操作したり、細胞診ブラシを必要な長さまで挿入したりする。
- (2)リングをゆっくり押し、ブラシをチューブから突き出し、目的の細胞に押し付ける。
- (3)ブラシで目的部位を擦過し、細胞を採取する。
- (4)リングをゆっくり引き、ブラシをチューブ内に引き込む。

8.ガイドシースおよび内視鏡からの引き抜き

- (1)超音波プローブを使用している場合には、US ストッパをガイドシースの処置具ポートからはずす。
- (2)超音波プローブまたは処置具をガイドシースから引き抜く。
- (3)ガイドシースを内視鏡から引き抜く。

9.廃棄

本製品の使用が終了したら、適切な方法で廃棄する。

**詳細は『取扱説明書』の「9 保管」、「10 使用法」、「11 廃棄」を参照すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

**組み合わせて使用する医療機器

本製品と組み合わせて使用可能な医療機器は以下である。
組み合わせ可能な当社指定の内視鏡：

有効長	有効長 600mm 以下
チャンネル径	Φ2.8mm 以上

構成部品ごとの組み合わせで使用可能な医療機器は以下である。

販売名/ モデル名 (医療機器認証番号/ 医療機器届出番号)	構成部品			
	SG- 401C	US ス トツパ	ET ス トツパ 白	ET ス トツパ グレー
内視鏡用超音波プローブ UM-S20-20R/ UM-S20-20R (21000BZZ00370000)	○	○	-	-
誘導子 CC-6DR-1/ CC-6DR-1 (13B1X00277000210)	○	-	○	-
ディスプレイ誘導子 CC-220DR/ CC-220DR (13B1X00277000622)	○	-	○	-
ディスプレイ吸引生検 針 NA-403D/ NA-403D-2021 (230ABBZX00024000)	○	-	○	-
ディスプレイ細胞診ブ ラシ/ BC-202D-2010 (13B1X00277000017)	○	-	-	○

または当社指定の内視鏡用超音波プローブ、誘導子、吸引生検針、細胞診ブラシ

【使用上の注意】

**重要な基本的注意

一般的事項

- (1)内視鏡の視野が確保されていない状態で、本製品を内視鏡に挿入しないこと。また、内視鏡の視野内または X 線透視下で挿入部先端が確認できていない状態で、本製品の一連の操作をしないこと。
- (2)挿入部先端を内視鏡から突き出している状態で、急激な内視鏡の角度操作をしないこと。
- (3)無理な挿入、および急激な挿入はしないこと。また、抵抗が大きくて挿入が困難な場合は、無理なく挿入できるところまで、内視鏡の角度を戻すこと。
- (4)無理な力で挿入部先端を体腔内の組織に押し付けないこと。また、無理な力で挿入部先端を体腔内に押し付け、大きなサンプルを採取しないこと。
- (5)ガイドシースを内視鏡から、また超音波プローブや処置具をガイドシースから勢いよく引き抜かないこと。
- (6)生検鉗子 (FB-231D) の操作ワイヤがカップからはずれた場合、直ちに使用を中止すること。操作ワイヤがカップからはずれた場合、スライダに抵抗感がなくなる、または引っ掛かりが出るなど操作感が変わることがある。操作感が変わった場合は操作ワイヤがカップからはずれていないことを確認すること。また、内視鏡に生検鉗子を挿入後、操作ワイヤがはずれた場合、スライダを手元まで引き、生検鉗子を内視鏡の先端近傍まで引き込み、生検鉗子と内視鏡を一緒に、内視鏡画像を見ながら体腔内を傷つけないよう注意しながら引き抜くこと。さらに、患者体内に操作ワイヤの一部が脱落していないことを確認すること。

**詳細は『取扱説明書』の「9 保管」、「10 使用法」、「11 廃棄」を参照すること。

不具合

その他の不具合

機器の破損、機能の低下

有害事象

その他の有害事象

感染、組織・皮膚の炎症、出血、粘膜損傷、人体への傷害、生検鉗子 (FB-231D) の操作ワイヤの脱落

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

**詳細は『取扱説明書』の「9 保管」を参照すること。

有効期間

滅菌パックに表示された使用期限を確認すること。
(自己認証 (当社データ) による)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149 (内視鏡お客様相談センター)

取扱説明書を必ずご参照ください。